

2013-11-04

縮小社会第19回研究会（東京大会）実施報告

作成：佐藤国仁（理事）

企画趣旨

縮小社会において、どのような生活が営まれるのかを明らかにすることは非常に重要である。これまでの社会の常識に流されて、ともすれば「くらい」イメージになりがちな「縮小」のキーワードのイメージを180度転換し、縮小のみが、明るく豊かな未来を構想することができること、これを具体的に示すことを目指した。

すなわち、圧倒的多数が現に生活を営んでいる都会においてどのような「縮小社会」が可能なのか。それがいまのあくせく、ぎすぎす、他者の犠牲の上に成り立つ生活と如何に異なった魅力あるものとなり得るかを議論する。その一つの具体的な実例として「谷根千」に登場いただき、経験に学ぶことを目指す。

1. 実施

(1)月日 2013年11月2日（土）

(2)行事 まちあるき(23人)、講演会＋パネル(46人)、懇親会(23人)

2. まちあるき

(1)10:30～12:30

(2)日暮里駅→谷中五重塔→初音の森→須藤公園→旧安田楠雄邸→森鷗外観潮楼跡→根津神社

(3)案内人：山崎範子（谷根千工房）



谷根千まちあるき：安田邸前

3. 講演会

(1)14:00～16:00

(2)会場：日本基督教団根津教会（鍋谷牧師）

(3)プログラム 鍋谷牧師お話し、松久理事長「縮小社会研究会が目指すもの」、森まゆみ「すみれ派宣言」



根津教会で講演中の森まゆみ氏

4. パネル

(1)16:20～17:00

(2)会場：同上

(3)パネリスト 森まゆみ、松久寛、島啓一（根津映画倶楽部）、司会 佐藤国仁

5. 懇親会

(1)17:30～20:00

(2)会場：根津車屋（東京都文京区根津2-18-2）

6. 特にお世話になった方

・権上かおる（酸性雨研究会、谷根千の準メンバーの立場で今回の行事全体をアレンジいただいた）

・森まゆみ（谷根千創設者、作家、講演、パネル）

・山崎範子（谷根千創設者、谷根千工房、まちあるき案内人）

・島啓一（根津映画倶楽部、根津教会の準備一切、パネル）

・鍋谷牧師（会場を貸与）

・原尚子（東京新聞記者、記事2回掲載 10/30、11/3）

・佐藤淳（読売新聞編集委員、10/22 記事掲載のアレンジ）

・鈴木徹（日刊工業新聞社書籍編集部長）

(以上)